

1 学校教育目標

- よく考える子 ○心豊かな子 ○たくましい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○子どもが「安心でき、自信をつけ、地域や学校に誇りがもてる」学校 ○確かな学力と豊かな心、健やかな体を育てる学校 ○保護者・地域と連携を深め、信頼される学校
○児童・生徒像	○相手・他者の人権を尊重して関わり合う子 ○自ら学び、自ら考え、アイデアを出し合いチャレンジする子 ○すすんで体を動かし、心身ともに健康でたくましい子
○教師像	○人権意識を高め、子ども一人一人の良さを引き出す指導を実践する教師 ○日々の授業の充実を目指してチャレンジする教師 ○危機管理(最悪を考え、慎重に、素早く、誠実に、組織的に)を意識し、情報共有・共通実践していく教師集団

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

〈 現 状 〉

- 児童は明るく素直で、学習態度、生活態度ともおおむね落ち着いている。
- 児童の安全安心な校内外の生活に向けて、学校・家庭・地域の三者が連携・協働している。(コミュニティスクール指定)
- 保護者や地域の方によるボランティア活動が大きな支えになっている。(見守り、図書、ホームページ)
- 学校と家庭で平時から情報を共有して関係を築くことにより、児童に関わる危険やトラブル等の未然防止・早期発見・対応に努めている。
- 教員間での情報共有や危機管理の「さしすせそ」は全教員が高い意識をもって実践してきた。定期異動で転入した教員も含め、今年度も継続させていく。

〈 前年度の成果と課題 〉

- 特別活動(特に学級活動と児童会活動)の指導について全教員で実践研究に取り組み、よりよい学級づくり、学校づくりに児童が主体的に関わることができた。また、そのことにより、全学級の経営が安定し、児童も学級内で安心感のもと、生活することができた。
- 足立スタンダードの授業展開は全教員が理解し実践している。今年度も「虎の巻」を活用し児童が主体的に学習に向かう授業研究を小中連携で進めることができた。
- タブレット端末の利活用、ICT教育は全学年で取り組み、推進できた。ICT支援員の協力支援と、小中連携の授業研究が大きな推進力となった。
- 放課後の図書館開放を週2回から4回に増やすことができた。また、児童会のアイデアにより、貸出冊数を大きく伸ばした。CSのインセンティブ予算で読書環境の充実を図った。
- 校内研究については、全学級の安定をより確かなもの、強固なものにしていくため、次年度も特別活動の実践研究を継続する。(研究授業は半分ほどに縮小)講師についてはCS予算をあてられるよう企画する。また、ICT教育推進に向けた実践研究研修も新たに行う。
- 体力向上の面では、体力テストを単なる測定に終わることのないよう、事前指導や意欲付け、データの活用を進めていく。その際、足立区スポーツ推進委員を講師として招聘する。また、ダンスや陸上、タグラグビー等の指導経験のある地域人材の活用をさらに推進する。
- 保護者との信頼関係・協働関係をより強固にしていく。そのためには、まず平時からの積極的な情報発信に努めていく。
- あいさつや正しい言葉遣いの定着については今後も保護者・地域・学校の三者協力で進めるが、児童自身の発案や児童の主体的な取組として行うよう工夫改善を図る。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R 6	R 7	R 8	R 9	R 10
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	体力向上	○	○	○	○	○
3	心の醸成（規範意識・自己肯定感の向上・いじめ暴力暴言の根絶）	○	○	○	○	○
4	保護者・地域との連携・協力による教育活動の充実	○	○	○	○	○
5	特別活動の充実		○	○	○	○

5 令和8年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
2月到達度確認調査において、令和7年度の通過率を維持または向上させる。		2月到達度確認調査(通過率) 2年 国90 算90 3年 国85 算85 4年 国85 算85 5年 国80 算80 6年 国80 算80				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全教員	通年	・AS虎の巻の理解と実践	・週案 ・授業観察 ・面接 ・学校評価	・全教員の実践 ・学校評価 「よい」85%		自己評価の際に記入	

2 継続	ICT活用	全学年 全教科	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修年3回以上(授業モデル・実践共有) ・ミニ研修月1回以上 ・活用事例をクラウド共有し月1回更新 ・情報モラル指導を全学年1回以上実施 ・授業観察・助言年3回 ・「情報活用能力体系表」の活用と見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察・記録簿 ・校内研究・公開授業 ・教員調査 ・児童アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末活用授業を全学級で週5回以上 ・思考・判断・表現を高めるICT活用を各単元1回以上 ・教員のICT活用指導力自己評価85% 	
3 継続	少人数指導	1, 2年 算数	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・都時間講師を活用し低学年算数においても3グループ編成で習熟度別指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・週案 ・授業観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施率85%以上 	
4 継続	読書活動	全学年	通年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活用年間計画の作成、実施 ・読書目標の設定 ・放課後の図書館開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数 ・週案 ・調べる学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出冊数年40冊/人 ・調べる学習100%実施 	
5 継続	夏休み 補充教室	各学年 若干名 算数	夏休み 10回	<ul style="list-style-type: none"> ・補充学習(全学年) ・AIドリル学習(高学年) 	実施後に、4月区調査問題を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の正答率を向上させる。 	

重点的な取組事項－2		体力向上					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
<ul style="list-style-type: none"> ・体力調査において昨年度記録を上回る ・縄跳び旬間や、持久走旬間、外部講師招聘による運動機会の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・記録の向上：100% ・体力向上の取組：100%実施 		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果	コメント・課題	達成度	

体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・全国体力調査8種目の記録について昨年度の自己記録を全児童が更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の招聘 ・事前：測定方法や指導方法を研修する。 ・当日：測定の協力 ・事後：課題解決のため 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・縄跳び旬間や持久走旬間の計画実施 ・外部講師を招聘し運動機会をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導の充実（年間計画に基づく授業実践） ・縄跳びカード、持久走カード過程を重視する。 ・スポーツ指導ボランティア ・外遊びの励行（休み時間） 	
生活習慣の確立 学校保健行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画の実施 ・学校評価 「よい」85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健便りの活用、学級指導 ・歯の指導（全学年） ・虫歯等の受診率90% 	

重点的な取組事項－3		心の醸成（規範意識・自己肯定感の向上・いじめ暴力暴言の根絶）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
他人を思いやる気持ちや共に助け合っ て生きようとする態度の育成		保護者と児童の 学校評価「よい」90%	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
規律の徹底 よい子のきまり 授業規律	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価「よい」 保護者85% 児童 85% 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護日誌、生活指導朝会 ・全教科授業を通して指導 ・保護者、児童による評価 			
いじめの根絶 いじめをしない、 許さない、 傍観者にならない	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの解消率100% ・新たな重大事案ゼロ ・学校評価「よい」 保護者90% ・18項目の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員で情報共有（週1回） ・いじめアンケート（年3回） ・校内委員会による迅速な対応及び継続指導の実施。 ・基本方針の周知（6月まで） 			
道徳授業	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に沿った実施 ・道徳授業の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を通し道徳的判断力、心情、 実践意欲と態度を育成する。 ・外部講師の招聘 			

重点的な取組事項－４		保護者・地域との連携協力による教育活動の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者、地域人材との連携 あいさつの習慣化 (CS 重点目標)		・以下に示すとおり	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学校運営協議会及び開かれた学校づくり協議会の開催	・年7回 ・年3回	・学校運営協議会による経営計画の承認、挨拶運動、学習支援、学校評価 ・開かれた学校づくり協議会による関係者評価作成	自己評価の際に記入		
保護者との連携	・年間計画により実施 ・平時の個別連絡 (月1回、年10回程度) ・PTA行事の参加	・学校の公開 (月1回) ・担任と保護者の情報共有を日常的に連絡帳で行う。 ・PTA総会及び夏のイベントに全教員が参加			
あいさつの習慣化 (CS 重点目標)	・自己評価 「よい」90% ・学校評価 「よい」85%	・児童会あいさつ運動の継続 ・情報の発信の強化			
交通安全、防災支援 ・交通安全ボランティア ・避難所運営	・毎日の登校の見守り ・安全指導の実施 ・交通事故ゼロ ・災害時円滑な避難所運営	・安全教育年間計画の作成、実施 ・教員とボランティアと保護者の三位一体の見守り (通年) ・地域防災との連携マニュアル			
学習支援	・図書ボランティア 朝の読み聞かせの実施 ・スポーツボランティア 陸上、ダンス、タグラグビーの実施	・読み語り 全学年 (週1) ・花づくり運動 ・ダンス 1, 2年 ・タグラグビー 3, 4年 ・陸上 5, 6年			

重点的な取組事項－5		特別活動の充実			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
全学級の安定 児童の自主的実践的な態度を育てる		以下に示すとおり	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
学級活動	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の作成、及び実施 全12学級の安定 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の校内研究研修により全学級で共通実践 外部講師を招聘し授業改善を推進する。 	自己評価の際に記入		
児童会活動	<ul style="list-style-type: none"> 全8委員会で児童の発案による創意工夫ある活動を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会に関わる研修を全教員で行う。 			
縦割り班活動	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画の作成、及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> 相手、他者への思いやりのある態度を育てるために異年齢集団の班で年間を通して遊びで交流する。 			